



コミュニティーのこのこ



6月20日、柏市観光協会の中島さんとかしわ民話保存会の皆さんをお迎えして、「柏のむかしばなし」の講座を開きました。

中島さんのお話では、柏の民話の特徴は、物語の舞台が実際にどこなのかがはっきりしていることです。また、明治時代の古地図などを使って、ひとつひとつの物語の背景を丁寧に調べて、舞台を確定させているそうです。そして、物語の痕跡が今も残っているというのが、とても興味深いポイントでした。

柏市には、全部で50のお話があるそうで、その中から今回は6つの物語を語り部の方々が披露してくださいました。あたたかく優しい語り口で、お話を聞いていた皆さんも自然と引き込まれていました。

昔から語り継がれてきた民話の大切さを、改めて感じるひとときになりました。



講師の中島さん



みんわ保存会の方々



- ・驚山のむじな
- ・カラス天狗と祭り見物
- ・バクチぶちのシー
- ・野馬を呼ぶ丘
- ・常使えのムジナ退治
- ・木びきの爺さまと河童小僧

